

令和6年12月吉日

市内中学校生徒の保護者の皆様へ

教育長に着任して約2か月の間に市内10校の中学校を全て回り、各学校の授業や子どもたちの表情を見させていただきました。どの学校も活気があり、すれ違うたびに大きな声で挨拶してくれました。

あっという間に12月に入り、今年も残り僅かとなりました。3年生は高校受験などの卒業後の進路に向けた岐路にいます。多くの中学生保護者から、「うちの子は勉強しないから」や「スマホばかり見ている」との声をよく聞きます。我が家には高校生と小学生の娘がいますが、長女が中学生の時も全く同じです。

しかし、子どもたちは子どもたちなりに頑張っています。頑張る尺度は皆様から見れば満足いかないこともあるかもしれませんが、「もっと頑張れ」ではなく、「よく頑張った」と、認めてあげてほしいです。多くの中学生は勉強だけでなく、部活や友達との付き合いなど、大人顔負けするほど多忙です。決して、通知表だけをもって子どもを評価しないでください。通知表の5段階評価では測れない成長や頑張りがあります。

また、将来、「何をやりたいか」「どうやって生きていきたいか」など、具体的な将来について、是非、家庭で話し合ってください。「自分がやりたいことを実現するために、今、何をすべきか」を落ち着いた環境で子どもに考えさせてください。保護者としては、偏差値の高い学校への進学や一流企業に就職してほしいと願う方もいるかもしれませんが、しかし、終身雇用制度が崩壊しつつあり、今ある職業の約半分はなくなると言われるこれからの時代、大切なのは、転んでも失敗してもそれをバネにして起き上がれる『生きる力』が必要だと思えます。

子どもの人生は通常、保護者よりも長いです。自分のことは自分で決められる人間になれるよう、保護者としては見守ることが重要ではないでしょうか。干渉でも放任でもなく見守りです。多くの中学生にとっては、家庭から見守られ、認められ、愛されることが一番の安らぎに繋がります。是非、この年末年始は多くのご家庭で保護者と子どもが向き合い、「どうやって生きていきたいか」を引き出す機会にしてください。

皆様が良いお年をお迎えできることを祈念しております。

流山市教育委員会 教育長 吉田瑞穂



教育長Instagram

NAGA.KYOUJIKUCHOU



教育委員会ホームページ

